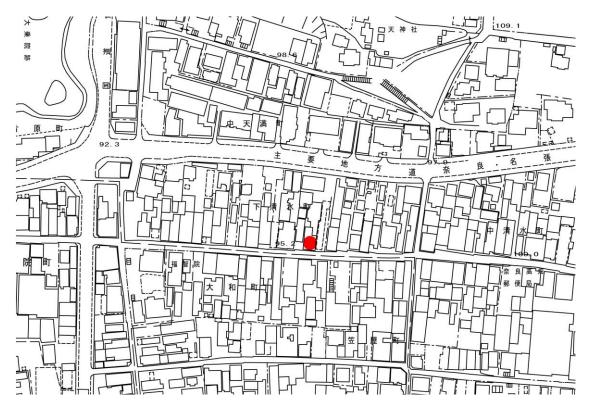
## 歷史的風致形成建浩物 指定台帳

歴史的風致形成建造物 指定台帳				
指定番号	25	名称	八木家住宅	
指定年月日	R2.5.28	所在地 (指定地)	奈良市高畑町 954 番地 1	
指定建造物	主屋	建築年代 ・概要	昭和初期	表屋造、木造 2 階建 (表屋平屋建)、切妻 造、平入、セメント瓦葺 (表屋桟瓦葺)
	この地は、奈良町の東部に位置し、以前は下清水町といって清水井という井戸があったと			
位 置 • 歴 史	いう。近隣の上清水町、中清水町とともに地下水が豊富で、江戸時代には豊かな水源を利用			
	して酒屋が営まれた地域である。			
	八木家は代々下清水町に住み、明治期に現当主の曽祖父である八木善七が米屋を始めたと			
	伝わる。その後、米屋の傍ら荒物を販売し、昭和16年、祖母の代で米屋をやめ、荒物屋を			
	営むようになり現在に至る。			
	東西道路に南面する当家は、昭和5年に建てられたと伝わる表屋造の町家である。当時、			
前面道路を拡幅する計画があり、拡幅の際に取り壊せるよう。				壊せるよう表屋を平屋にしたと伝わる。
	主屋は、表屋が平屋建て桟瓦葺で、正面は広く開放とする。表屋内部は間仕切りのない広			
	く開放的な土間の空間で、店舗として活用されていたが、令和元年度の改修により、西から			
	約2間の位置に壁が設けられ一部に床が張られた。			
	主体部は、木造2階建て、セメント瓦葺で、正面2階は格子窓が入る。内部は、東側をト			
	オリニワとし、西側に居室が1列3室並ぶ。昭和50年代以降、段階的にトオリニワを改造			
	し、床を張り、台所や居室、風呂などを設けた。居室部1階表側は、西側4畳分を板敷きの			
建物特徴	事務室とし、ガラス窓、腰壁で店舗と区画し、東側1畳の土間境に間仕切りを入れずに店舗			
•	と一体化する空間だったが、令和元年度に大きく改修された。2階は、表側に階段からの通			
改修履歴	路や物置を配し、居室部に2室、土間部に1室の居室を配する。土間部後方の吹抜け部分は			
	屋根を一段低くする。			
	居室部は全体的に保存状態が良く、座敷は1階2階とも座敷飾りが整っており、欄間や書			
	院の凝った意匠、床の鏡天井や建具などに良質な材が用いられるなど、昭和初期の良質な町			
	家の特徴がよく残っている。			
	改修履歴)昭和50年代:トオリニワに床を張る 昭和50年代後半:トイレ・風呂をトオリニワに移設 昭和60年代:台所改造 令和元年度:表屋屋根葺替、外観復原、内部改修			
			<b>州</b>	F皮:衣座座似揖晉、外觀復原、內部攻修
活 用	住宅として使	用		
	奈良町の昭和初期の町家の特徴を有しており、将来の道路拡張に備えて平屋の表屋造とし			
価値	た点は、奈良町に生きる人々の工夫と柔軟性を示す例であり、奈良の町家における人々の営			
	みにみる歴史的風致の維持及び向上に寄与する。			





## 歴史的風致形成建造物 指定台帳



付近見取図

